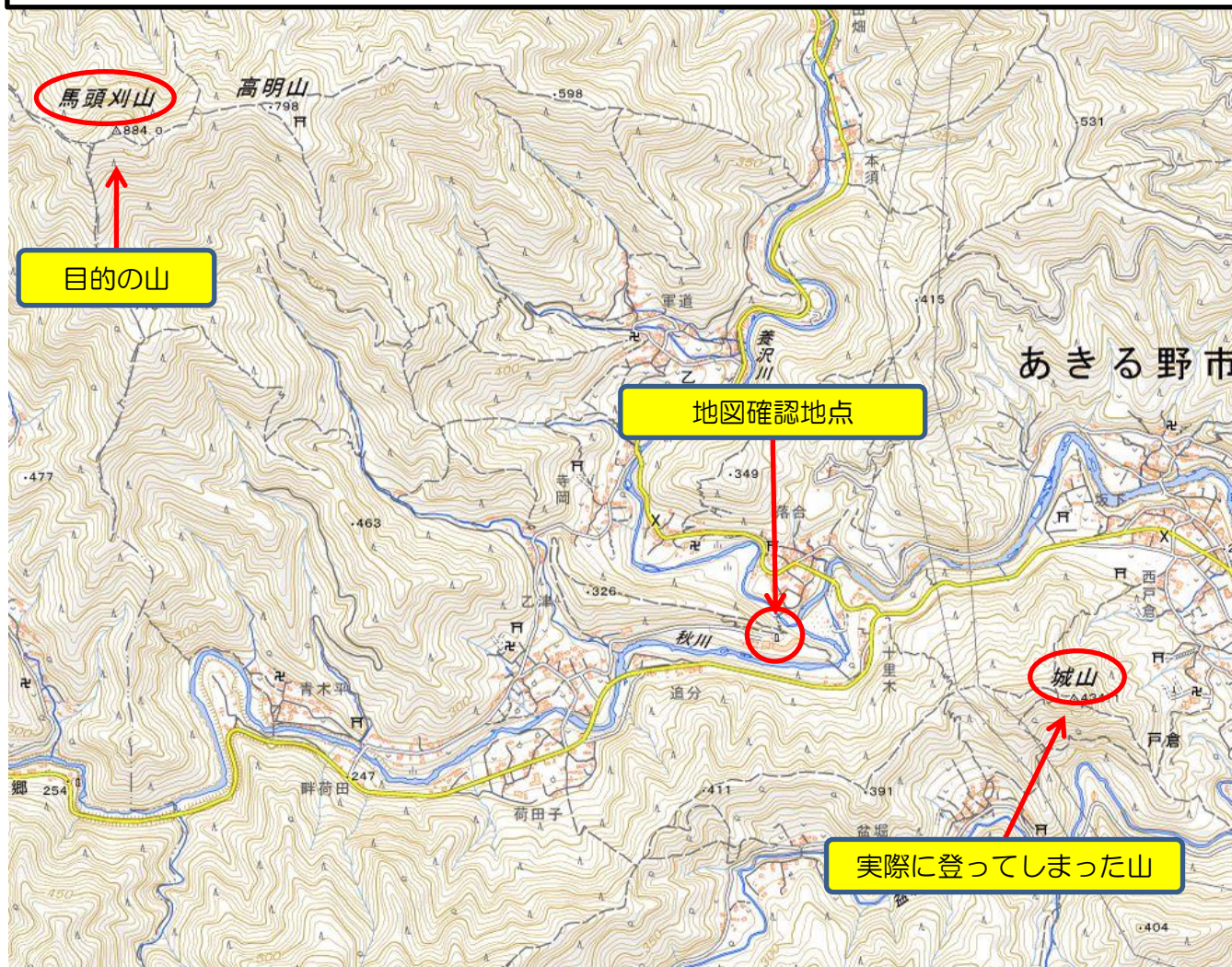


馬頭苧山道迷い(2021年3月)

地図を広げ、「馬頭苧山」を目指し確認。何故か180度方向の違う「城山」に登ってしまった。



解説

(HPをそのまま掲載)

馬頭刈山の手前には光明山(高明山)があるが、私は地図を見ているうちに光明山を戸倉城山と認識した。

これは『ぶっこ抜き』と言う難度の高い道迷いの技だ。見ていたポイント(次の目的地)を瞬時にルート外の別ポイントに置き換える、地図は書き換えられないので、脳内で置き換えるという感じだ。ぶっこまれたポイントは名前が違って正しいと思いついてしまふ、「こんな別称があるのか」など疑わず強引に肯定してしまうのがこの技の恐ろしいところである。

笑い話ではなく、「道迷い」はこういった思い込みから発生することが多い。まったく違った看板でも「こんな別称があるのか」と疑う余地が無くなることもある。そして、間違っただけの思い込みが、すべての出来事を正しいと肯定してしまう。

「思い込み」は、「道迷い」の敵。「客観的に地図読み」を行うこと。「冷静でいられること」が最も大切で難しいことなのかもしれない。